

経営のヒント230 マネジメント神話

参考著書「世界のメンターの特別講座 これからのリーダーが志すべきことを教えよう」ジョン・C・マクスウェル

「リーダー」と「マネジャー」の大きな違い

この質問にあなたは何と応えますか？

どのように違うと考えますか？

又、あなたは「リーダー」型ですか？それとも「マネジャー」型でしょうか？

最近(お盆休み中)、図書館から借りて来た本にとっても参考になる本がありました。一度、全て読んで、この本は手元に置いておきたく赤線を引いて、何度も読み込みたいと考え、ネット通販(Amazonから楽天に切り替え)にてオーダーしました。

マネジメントとリーダーシップは同じものだという誤解が広がっている。実際、リーダーシップに関する本と銘打ちながら、実際にはマネジメントについて書いている書物は少ない。

この2つの最大の違いは、リーダーシップは「自分のフォロワーに与える影響」に、マネジメントは「組織の体制や物事の手順」に焦点を当てていることだ。

クライスラー社の元会長リー・アイアコッカは皮肉を込めて言う。「優秀なマネジャー(管理職)でも、大きな犬を連れた少年のようになることがある。犬に引っ張られて歩いているだけなのに、自分が散歩させている気になっている」

自分がリーダーなのか、マネジャーなのかを確かめる最善の方法は、相手に何か好ましい変化を起こさせるようなことを言うことだ。それで相手が言う事を聞けば、あなたはリーダーということになる。

マネジャーは「方向性を維持する」ことはできても「変える」ことはできないことが多い。体制や手順が整っていれば、誰でもそれなりのことはできる。しかし、人を動かして、新しい方向に向かわせるには、リーダーとしての影響力が必要なのだ。

<経営のヒント>

ドラッカーの功罪。

あの有名な著書「マネジメント」が有名になり過ぎた為に、マネジメントとリーダーシップの誤解が起きてしまったと思います。

日本では、不幸にして「マネジメント」を「管理」と翻訳した為に、その後の経営学に誤解が生じたのではないのでしょうか？

そして20世紀までは、世の中で求められたリーダー像は管理型のマネジャーだったこともある。

乱世の真っ只中にある21世紀のビジネスでは、新しい価値を創造することが求められる。

情報の収集や整理・分析しても、この分野はコンピューターに人間は勝てない。

人間がコンピューターに勝てるのは・・・情報の中からどのような価値を創造するかである。

つまりは、デザインや設計する「新しいスキル」が重要になったのではないのでしょうか？

だから、右脳や感性が大切になると感じております。